

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- Reach Within to Embrace Humanity -

創立 1967年12月26日

- 会長 大西 寛治
- 幹事 上田 正義
- 会報委員長 北本 良弘

2011年~2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

平成24年1月17日

No. 2143

H24.1.10 (No. 2142の例会記録)

今週の卓話 (1月17日)

「ロータリー理解推進月間に因んで」

中原 毅 ロータリー情報委員長

次週の予定 (1月24日)

「憧れの『北アルプス』パート2

槍ヶ岳・穂高連峰」

北本 良弘 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (1月10日分)

会員数 45名 出席数 36名 欠席者 2名

特定免除 7名 その他免除 0名

出席率 94.74%

前々回12月13日分(クリスマス家族会)

ホームクラブの出席者 37名 90.24%

メイクアップの結果 38名

特定免除 7名 その他免除 0名

欠席者 2名 修正出席率 **92.68%**

ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

- ・誕生日自祝 大西 寛治 君
- ・誕生日自祝 北本 良弘 君
- ・誕生日自祝 間 紀夫 君
- ・結婚記念日自祝 大西 寛治 君
- ・入会記念日自祝(12月) 吉田 昭己 君
- ・在籍35年自祝 上田 陽造 君
- ・楽しい例会、仲間に会える楽しみ
奉仕の出来る喜びに感謝 大西 寛治 君
- ・今年2月でやっと呪縛が解けます 佐藤多加志 君
- ・岩船神社の岩窟巡りに連れて行っていただきました
佐藤会員有難うございました 感謝 木村 克己 君
- ・今年も健やかに新年を迎える事ができました
感謝 中野 秀一 君
- ・親睦会欠席お詫び 上田 陽造 君
- ・親睦会欠席お詫び 吉田 昭己 君



新年明けましておめでとうございます。今年は辰年です。新幹線の開業も、東京オリンピック開催も辰年です。草木に勢いが付き、活気が戻り、新しい何か芽生える年らしいです。辰年にあやかり我々も元気で勢いと、活みなぎる一年でありたいと思います。皆様はどのようなお正月を過ごされましたか？

私は何時も通りのお正月を過ごしました。ただ、12月の休日と大晦日、から元旦の昼の3時頃までは神社で参拝者の福引きや、元旦祭の片付けやら神社の奉仕で明け暮れます。合間を縫ってお雑煮を祝いに帰ってきます。お屠蘇は古くから1年の邪気を払うという意味で正月にのまれます。本来は薬草のエキスを抽出したものを飲むものだったようです。しかし、正月や神事には日本酒は欠かすことができません。日本酒は米と麴と水で作ります。仕込む米は、周りを削る「磨き」という作業を行います。磨き加減で仕上がりが異なり、辛口から大吟醸のように柔らかな口当たりまで、さまざまな味わいになります。地域独特の水と米のストレートな味わいが楽しめるのも魅力ですね。私は、お雑煮を祝う時にお神酒を金杯で頂きます。その時に今年も平穩無事な一年を感謝し、日本酒の旨さに幸せを感じます。

今日は十日恵比寿です。私は毎年九日の宵戎の朝八時前にお参りします。境内には人はまばらで福笹も好きな笹をもらい放題で吉兆を付けてもらうのも思い通りです。

今日例会が終わり次第に台湾双溪ロータリークラブに東日本大震災に頂きました義援金の使い方がほぼ決まりましたので報告に参ります。橋本社会奉仕委員長、田川国際委員長、佐藤会員、上田幹事には大変お世話になります。クラブを代表して厚く御礼申し上げます。宜しくお願い致します。

1月28日には、IM三組のインターミーティングが有ります。今から日程を開けて必ず出席してください。宜しくお願い致します。





《決議事項》

- (1) 大阪桐蔭高等学校 卒業証書授与式お祝い(例年 20,000 円)
・・・ 承認
- (2) クリスマス会会計報告について
・・・ 別紙参照 承認
- (3) 加藤敏明会員出席免除申請について
・・・ 承認
- (4) その他

《報告事項》

1/10～12 雙溪RCへ義援金の使用について報告のため訪台
(大西会長・上田幹事・田川国際委員長・橋本社会奉仕委員長・佐藤会員)





「年男卓話」

中原 毅 会員

今年は壬辰（みずのえ・たつ）であります。

「壬」の字は、「妊」の意味で、草木の内部に新しい種子が生まれた状態を表しているそうです。

「辰」の字は「振るう」意味で、陽気が動き草木が伸長する状態を表しているそうです。

そういう意味では今年は何ができてそれが伸長して景気が上向いてくることを期待しております。また辰は十二支のなかで唯一、架空の動物であります。なぜ、空想上の動物が十二支に選ばれたのか定かではありませんが、竜の正体とは、また、その起源はどのようなものなのかをお話しさせていただきます。



竜は大きく2つに分類されます。主に中国を源とする東洋の「龍」と、西洋の「ドラゴン」があります。多くの人々は両者と同じ生き物だと考えがちですが、その特徴は大きく異なります。爬虫類的な姿で、表面をうろこで覆われているという全体的なイメージは似ていますが、東洋の龍が細身の体形であるのに対して、ドラゴン是一般に肥満気味である。水を司り、雨を降らす力を持つと言う龍と、口から炎を吐くドラゴンといわれるように何よりも両者の扱われ方が顕著に違います。

霊獣として崇められている東洋の龍は、数多くの寺院や古墳にも描かれ、人々に富をもたらすといわれてきました。また大東市の近辺にも龍間のように龍にまつわる地名や寺などがあります。龍間は伝説によりますと、雲を起して雨を呼び、雲雨を自在に支配する龍神の住む谷間に因み、龍間と名付けられたと言われています。

「約1200年前の天平の世、旱魃にあつて里民大いに苦しむ。行基これを憐れんで山間に立ち、法華経を詠すれば大雨沛然たり。ために、里民愁眉を開くと。龍王は身を裂いて、里民を救ったものであろう。身は三分されて天空より落下した。住民その志に感謝し、頭の処に龍光寺、胴体の処に龍間寺、尾の処に龍尾寺を建て、その霊を吊った」と伝えられています。

また他にも日本や中国の説話には人間界に姿を現した龍を助けたところ、沢山の見返りを授かったという話もあるそうです。





一方、西洋のドラゴンは概して嫌われものであり、神々や英雄に退治される悪魔的な存在として扱われていました。キリスト教の「暗示録」では「全世界を惑わす古き蛇、即ちドラゴンの姿をした悪魔は、大天使ミカエルによって天界から突き落とされた」と表現されています。世界中の、それぞれの土地柄に適した「ドラゴン伝説」が存在しており、それらを結び付けるといの方が無理な話なのかもしれません。しかし今なお、街のあちらこちらで竜のイラストやグッズが見受けられる今、時代を超えても色あせることなく存在し続ける竜、もはやそれだけで偉大な動物といえるのかもしれません。不況が深刻な問題となっている現在、辰年の今年、まさに昇竜のごとく、景気が上向いてくれることを願います。



藤本 和俊 会員

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈りいたします。

さて今年、2012年の辰年ですが、干支の十干と十二支の組み合わせから言えば、壬辰（みずのえたつ・じんしん）となります。ご存知のように干支がひと回りして同じ干支が60種類の組み合わせが巡ってくると「還暦」です。

その先の60年後の2072年には日中国交正常化から100年、日本の人口も5,400万から9,800万程度まで減少、温暖化により北極の氷の消滅などの予測があります。

辰に関しても色々な話がありますが、竜というと登竜門という言葉があり、昔、中国では鯉が滝を登って竜になると信じられており、多くの鯉が黄河上流の竜門という急流を昇ろうとしますが、ほんの僅かなものだけが滝を登りきり竜になることができたのです。ですから今の激変する時代、その激流の流れを見極め泳ぎ続けることが、いつの日にか、竜となり大空に羽ばたくことができる、そのような年の始まりではないかと思えます。

昨年の東日本大震災で甚大なる被害が発生しました。今年から本格的な復興に向けての取り組みの年になりますが、原子力事故による電力不足のエネルギー問題も重要な案件です。それを補う上で、電力各社はLNG火力への依存度を高め、また再生可能エネルギーによる発電による事業化がかなり進むと思われます。そしてガス発電による分散化発電も注目が浴びています。

それには米国で生産技術が確立された非在来型天然ガス「シェールガス」が、在来型天然ガス残存埋設量60年から160年を超える量があることが確実となったこ





とで、日本のエネルギー事情を一変させる可能性を秘めています。昨年9月にはカナダ・コルドバで三菱商事のもと、ガス、電力会社とそのプロジェクトに参画し、日本へ輸出する検討をしています。そうすれば買手である日本にも選択の余地が生まれ、価格競争が起こり安価にLNGを仕入れることができます。

また1990年代日本の領海内に、日本で消費される天然ガスの約90年分に相当する燃える氷の「メタンハイドレート」が発表され、採掘や商業利用は夢の領域であったのが、今年2月より第1回海洋産出試験に東部南海トラフ海域で着手し、2018年度をめどに実用化技術を確立し、2019年から商業生産を開始する予定です。このように大空に羽ばたける嬉しいニュースもある年です。

小川 芳男 会員

あけましておめでとうございます。年男が年頭の卓話を担当するというので、還暦を迎える3名で話しをさせていただきます。

私は、12年前辰年の年頭例会にて入会させて頂き、入会式の後、辰の話しをされていたのを覚えております。さらに12年前の昭和63年青年会議所に入会し、多くの友人・先輩を得たことを思うと何か辰年に特別なものを感じます。私は、薬剤師で薬以外の事柄に疎く、今日は龍に因んだ薬とその周辺の話しをさせていただきます。



龍という名のつく薬といえば、「大青龍湯」「小青龍湯」というのがあります。青龍というのは、中国の漢の時代に流行った四つの方位を司る、四神の一つで、東の方位を守る守護神であります。青龍・白虎・玄武の四神は、薬師寺の薬師如来像の台座四方に彫刻されており、高松塚古墳の四方の壁に描かれており、発見された当時、テレビ・新聞等でご覧になられたことと思います。日本の中にもこの四神は、随所に見られ、白虎隊・玄武洞・朱雀門・青龍刀等が挙げられます。

ちなみに会津の白虎隊は、17歳以下で編成された隊であります。50歳以上のもので編成された隊は、玄武隊となづけられていたそうです。

東	南	西	北
青	朱	白	玄
春	夏	秋	冬
青龍	朱雀	白虎	玄武
青春	朱夏	白秋	玄冬





1月のお花

- 今月の誕生日花は、1月ということもあり、お正月風に生けさせて頂きました。
- 使用花材は、松・椿・南天の実・ダリアです。
- 松は「歳寒の三友」と呼ばれ、竹・梅と共におめでたい木とされています。花言葉は「同情・哀れみ」です。
- 又、椿は冬から春に向けて花を咲かせる木ということで、木へんに春で「椿」と名付けられました。日本古来から茶花として、特に白玉椿は最も上等とされてきました。花言葉は「私は常にあなたを愛します」
- 赤い実の南天もお正月には欠かせない花材で、花言葉は「私の愛は増すばかり」です。



剣岳 : 標高 2999m

百名山 55/100

剣岳（つるぎだけ）は飛騨山脈（北アルプス）北部の立山連峰にある標高2,999m、1934年（昭和9年）12月4日に指定を受けた。山域はその特別保護地区になっている。日本百名山および新日本百名山に選定されている。

日本国内で「一般登山者が登る山のうちでは危険度の最も高い山」とされる。これは、その一般ルートが、一服剣 - 前剣 - 本峰の間で、岩稜伝いの鎖場やハシゴのルートになることによる。難所としてカニのヨコバイ・カニのタテバイと呼ばれる鎖場があるが、実際には、より容易な稜線で滑落事故などが発生している。また、クライマーと呼ばれる一流登山家も、その岩場や雪山で、多くの命を落としている。

氷河に削り取られた氷食尖峰でその峻険な山容は訪れる者を圧倒し、登山家からは「岩の殿堂」とも「岩と雪の殿堂」とも呼ばれている。南東の方角に日本三大雪渓の1つ、剣沢がある。北から東の方角には、大窓・小窓・三ノ窓など「窓」と呼ばれる懸垂氷食谷がある。飛騨系の閃緑岩と斑れい岩の硬い岩から構成され、それを輝緑岩が貫いている。山の上部は森林限界のハイマツ帯で、ライチョウの生息地であり、アオノツガザクラやハクサンイチゲなどの高山植物が自生している。





立山 : 標高 3015m

百名山 56/100

立山（たてやま）は、飛騨山脈（北アルプス）北部に位置する標高 3,015m の山。雄山（おやま、3,003m）、大汝山（おおなんじやま、3,015m）、富士ノ折立（ふじのおりたて、2,999m）の3つの峰の総称。雄山のみを指して立山ということもあるが、厳密には立山連峰に立山と称する単独峰は存在しない。立山連峰の主峰群で、中部山岳国立公園を代表する山の一つである。古くから日本の山岳信仰の山として、日本三霊山の一つである。日本三名山、日本百名山、新日本百名山及び花の百名山に選定されている。



雄山の山頂には、雄山神社本宮がある。峰本社神殿右端の前には、測量の基準である大きな黒御影石の標石（標高点 3,003m）があり、その約 70m 南南西に一等三角点（標高 2,991.59m、点名は立山）の標石が設置されている。

雄山・浄土山・別山を「立山三山」と呼び、その周辺の山々と合わせて狭義の「立山連峰」ということがある。広義で「立山連峰」という場合は僧ヶ岳から黒部五郎岳の辺りまでを呼ぶこともある。古くは、三俣蓮華岳から猫又山に至るまでを立山七十二峰と呼んだという。これとは別に立山火山がある。室堂山、浄土山、国見岳辺りを最高地点としている。かつて山体は立山カルデラにあり、元の立山火山の山頂部は侵食で喪失している。弥陀ヶ原と五色ヶ原はこの火山の火砕流堆積物や溶岩の台地である。ミクリガ池、ミドリガ池は火山湖であり、現在の立山火山の主な火山活動は地獄谷周辺の火山性ガスの噴出と温泉噴出である。

「立山」は単なる地理的な名称ではなく、室堂・地獄谷・弥陀ヶ原や立山カルデラという立山一体を含んだ地理的な広がり、立山信仰や遥拝登山など精神的な広がりを含んだ複合的な意味を持っている。



薬師岳 : 標高 2926.01m

百名山 57/100

薬師岳（やくしだけ）は富山県富山市南東部に位置する標高 2,926m の山。劔岳・立山と並ぶ飛騨山脈（北アルプス）立山連峰の主要峰である。山域は中部山岳国立公園に指定されている。



駒ヶ岳同様、日本各地には薬師岳という名の山が多数ある。全国的に知名度が高く、その最高峰がこの薬師岳である。

北アルプスの山で有数の、非常に大きなどっしりとした気品のある山容であることが知られている。東斜面には、大規模な氷河地形の薬師岳圏谷（カール）群があり、国の特別天然記念物に指定されている。

立山などと同様に、薬師岳も山岳信仰の対象であり、阿弥陀浄土としての立山（雄山）に対し、薬師岳はその名の通り薬師如来の浄土として信仰を集めた。山頂にはこの薬師如来を祀った小さな祠があり、銅剣など、数々の修験の宝具が見られる。かつて有峰ダム完成により水没した有峰の集落の住民らは、毎年 6 月 15 日に山頂へ登拝を行っていた。

